

1. 活動の目的

伝統的クヌギ里山林の保全活動を通じて里山を守り、伝統的炭焼き技術の継承を通じて茶道用菊炭を守り、ひいては日本が世界に誇る茶の湯文化を守る。我々の活動の目的は伝統文化を守ることにある。

2. 活動内容

2-1 伝統的クヌギ里山林の保全活動

大阪府豊能町牧地区境山クヌギ林（通称：牧クヌギ林、1.8ha）において次の活動を行っている。

- 1) 輪伐 …伝統的クヌギ里山林保全（低林管理）ならびに菊炭の原木調達のため牧クヌギ林を9区分し、毎年1区分を輪伐している。
- 2) 炭焼き …平成28年3月に建造した炭焼き窯において伝統的な方法で炭焼きを行っている。今炭焼きシーズンは8～9窯予定している。
- 3) 除草 …牧クヌギ林全域を毎年1回刈り払い機と手鎌で除草している。除草対象は主にネザサである。但し、保護植物の周辺は手鎌で除草している。主な保護植物は、キンラン、ササユリ、キツネノカミソリである。この除草によって毎年新しい草花が出現している。



輪伐されたクヌギ林（伐採後2年経過）

2-2 クヌギの森づくり

大阪府能勢町下田尻北山地区（通称：中田尻の森）において次の活動を行っている

- 1) クヌギの植樹 …中田尻の森では、平成19年度から毎年1回クヌギ植樹イベントを一般市民や小学生を対象に実施している。（植樹累計本数：約1700本）。なお、クヌギ苗木にはシカの食害防止用サブリガードネットを1本ずつ取り付けている。
- 2) 除草 …全域（約7000㎡、毎年増加）を毎年1回刈り払い機と手鎌で除草している。除草対象は主にネザサ、ベニバナボロギク、ダンドボロギクである。



キンラン

2-3 その他 菊炭体験講座（有料）を平成18年度から毎年1～3月に開講している。

（菊炭クラブの活動は産経新聞 1月13日付夕刊に紹介されました）

特別寄稿 シリーズ 哺乳類・ナキウサギ

第2回 ナキウサギって、どんな哺乳類？



関西野生生物研究所 川道 武男

これは北海道のエゾナキウサギ。ウサギ目はウサギ科とナキウサギ科が含まれる。見た目には、耳が丸いので、ナキウサギがウサギの仲間とは信じがたい。耳が長くない理由は、岩が積み重なった隙間を出入りするため、長いと邪魔になるだろう。

ふつうウサギはほとんど鳴かない。ナキウサギはその名のとおり頻繁に鳴き声をあげる。1頭が1日で100回鳴いた。もちろん、鳴き声は相手に向けられている。その相手とは、つがいの相手や隣接の個体である。私は鳴き声だけでオスカメスカ聞き分けられる。